

## 米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会は11月18日(火)に防衛省を訪れ、防衛副大臣へ要請書を提出しました。

熊毛地区1市3町でつくる協議会は、11月18日(火)に防衛省を訪れ、左藤章防衛副大臣に対して『馬毛島への陸上空母離着陸訓練(FCLP)施設関連予算の執行停止』、『日米共同文書からの削除及び補地からの除外』などを要請しました。

### ◆現地調査の実施を(副大臣)

前の民主党政権下で急速に加速し、地元には何の説明もないまま日米共同文書に「米軍の空母艦載機離発着訓練の恒久的な施設として使用されることになる。」として記載され、地元の意思を無視して進められている馬毛島への施設の移転について、改めて反対の意思を伝え、要請書を提出しました。

対応した左藤防衛副大臣は、協議会に対して、「前政権下で約束された日米共同文書であっても、約束した以上は進める必要があるため**現地調査を実施したい**」旨の発言がありました。



左藤防衛副大臣に要請を行う協議会(於:防衛副大臣室)

### ◆反対の意思は非常に固い!

協議会会長である長野西之表市長は、「基本的には島民及び郡民の**反対の意思は非常に固い**。その中での現地調査は施設設置を前提としての行動と捉えられる。」と強く抗議しました。

また、協議会副会長である川下中種子町長は、「武田前防衛副大臣が種子島に来島した際に、**地元の同意なくして強引には進めない**ということを確認しており、今後もその立場で対応いただきたい。」と伝えました。